

平成 29 年 1 月 16 日

鹿児島大学病院 消化器外科、乳腺・甲状腺外科 で

悪性腫瘍の治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器外科、乳腺・甲状腺外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

精神疾患合併乳癌の臨床的特徴についての検討（後ろ向き研究）

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器外科、乳腺・甲状腺外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 消化器外科 教授 夏越祥次

【研究の目的】

統合失調症や認知症などの精神疾患を有する患者さんは自覚症状や病識に乏しいため、乳癌の発見が遅れ、進行した状態で診断されることが多いとされています。また、本人の理解力の欠如のため治療の同意を得ることが難しく、一般的な治療を完遂できないことも多いのが現状です。精神疾患を合併した乳癌と診断された患者さんの治療をどのように行っていくかは臨床的にもしばしば遭遇する課題であり、その臨床像を明らかにすることが目的です。この研究を行うことにより、精神疾患を合併する患者さんの治療に関してこれまで以上に最適な選択が出来るようになると期待され、平成 37 年 3 月 31 日まで研究を実施します。

【研究の方法】

この研究では平成 28 年 9 月 30 日までに得られた情報を用いて統合失調症、認知症、精神発達遅滞などの自覚症状を訴えることが困難な状況にある精神疾患と診断された患者さんの臨床病理学的因子を、それ以外の患者さんのデータと比較、解析します。評価項目として、病理学的因子、治療因子、予後因子の差異の分析を行います。

●対象になる患者さん

この研究は平成元年 1 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日に鹿児島大

学病院消化器外科、乳腺・甲状腺外科を受診され、乳癌または乳癌の疑いと診断され、手術を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

この研究では、カルテ情報から年齢、病歴、家族歴、採血検査（末梢血検査、生化学検査など）、画像検査結果（CT、MRI、PET検査など）、病理診断結果について診療記録を使用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器・乳腺甲状腺外科学分野の研究費で実施します。研究費の一部には企業からの寄附金が含まれますが、広く学術を振興するためのものであり、この研究を特定したものではありません。この研究に対する企業等からの寄附および労務提供はありませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 消化器、乳腺・甲状腺外科

医員 新田吉陽

電話 099-275-5361 FAX 099-265-7426